

マエストロ
シリーズ

第1弾

小林美恵 &

123
Mitake Sayaka Salon (vol.65)



Mitake
Sayaka
Salon

マエストロシリーズ、ついに開幕!
第一弾は、90年ロンドン・ティボー国際コンクールで日本人で初優勝を制した小林美恵と、昨年19年ピアノ部門で第2位を飾った務川慧悟の夢のデュオが実現

務川慧悟

デュオ
リサイタル

2020年 **7月23日** (木・祝)
〈マチネ〉開場14:30/開演15:00
〈ソワレ〉開場18:30/開演19:00
入場料:会員4,500円/
一般5,000円/学生2,500円
(全席自由席)

〈プログラム〉

グリーグ: ヴァイオリン・ソナタ 第3番 op.45 ハ短調

ラヴェル: ヴァイオリン・ソナタ (遺作)

エネスコ: ヴァイオリン・ソナタ 第3番「ルーマニアの民族様式で」op.25 イ短調

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。



©Akira Muto

●ご予約・お問い合わせ 株式会社 I LA (美竹青花さろん) 03-6452-6711 (平日 9:00-18:00)、070-2168-8484 (時間外可) Webサイト: <https://bit.ly/3bqGRR1>



小林美恵 デュオ 務川慧悟 リサイタル

マエストロシリーズ 01



2020年7月23日(木・祝) (マチネ) 開場14:30/開演15:00 (ソワレ) 開場18:30/開演19:00

入場料: 会員4,500円/一般5,000円/学生2,500円(全席自由席)

小林 美恵 (KOBAYASHI Mie) Violin

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。

1983年第52回日本音楽コンクール第2位。1984年海外派遣コンクール河合賞受賞。1988年にはシュポア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。1990年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で本格的な活動を開始する。

これまでに、NHK交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等の国内の主要オーケストラ、ハンガリー国立交響楽団、ブラハ交響楽団のソリストとして、充実した演奏を高く評価される。また、静岡のAOIレジデンス・クワルテットのメンバーをはじめ、数多くの共演者と室内楽の分野においても精力的に活動を広げている。

CDは、「ブレイズ・クライスラー」、パスカル・ロジェとのデュオ「フォーレ作品集」「ラヴェル&エネスコ ヴァイオリン・ソナタ集」、ツイゴイネルワイゼンなどを収録した「ヴァイオリン名曲集」などに加え、2018年には「J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ(全曲)」がリリースされた。

2018年2月からは、Hakuju Hallにてリサイタル新シリーズ「小林美恵 華麗なるヴァイオリンの伝説」(全6回)を開始した。今後も日本を代表するヴァイオリニストとして、リサイタル、室内楽、オーケストラとの共演など全国各地で公演が予定されている。

現在、昭和音楽大学客員教授。

小林美恵オフィシャルホームページ

<http://miekobayashi.com/>

巨匠から若手へ"音楽のバトン"を——

当サロンでは若手を中心としたコンサートを開催してきました。

ですが、そもそもクラシック音楽とは約300年も前からバツハからモーツァルトへ、そしてベートーヴェンからショパンへと、その尊い文化を繋ぎ今日まで伝えられて来ました。

そしてそのスタイルは今も変わらず、誰かがその"音楽のバトン"を受け取り、次の時代へと繋げて行くものです。

本シリーズは、伝統を次世代に継ぐ円熟したマエストロから今まさに躍進を遂げるクラシック界期待のホープへと、どんな音楽のバトンが渡されるのか、共演によって生まれる一期一会の奇跡をより多くの皆様と体験できればとの思いで、この夏スタートいたします!

記念すべき第一弾はヴァイオリニスト小林美恵×ピアニスト務川慧悟のコラボ。

小林美恵氏はロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人初の優勝をおさめ、NHK交響楽団をはじめ国内外の数多くのオーケストラにソリストとして共演。室内楽も精力的に取り組まれており、今もお活躍目覚ましく、日本を代表するマエストロのお一人です。

ヴァイオリンの温かくふよやかな音色と、今までに体験したことのないような美しいビブラートには特筆すべきものがあり、まさに天から舞い降りてきたような優雅さとも言えるでしょう。

そんなマエストロのヴァイオリンに大変なインスパイアを受けたと話すピアニスト務川慧悟氏。

深みのある音と楽曲分析などで、若手注目のピアニストの一人で、彼の鋭い着眼や独自の思想に共感するファンも多くいらっしゃいます。

今回はロン＝ティボー国際コンクールを制した奇跡のコラボに、得も言われぬ感動を感じさせてくれることでしょう。

(美竹清花さろん)

務川 慧悟 (MUKAWA Keigo) Piano

1993年生まれ。2019年のロン＝ティボー・クレスパノ国際音楽コンクールにて第2位を受賞。コンクール史上初、日本人が1位、2位を独占し大きな注目を集める。

2012年第81回日本音楽コンクール第1位。2015年エビナル国際ピアノコンクール(フランス)第2位。コープ・ミュージック・アワード国際コンクール(イタリア)ピアノ部門第1位。2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第5位。

これまでに、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、フランスにてロレーヌ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団等と共演。

2017年にはシャネル・ピグマリオン・デイズのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ作品全曲演奏」をテーマに6回のリサイタルを開催。日本、ヨーロッパを拠点に幅広く演奏活動を行うと共に、留学記、エッセイの執筆など、多方面で活動している。

パリ国立高等音楽院ピアノ科第1課程・第2課程、室内楽科を修了し、現在、ピアノ科第3課程、フォルテピアノ科の両科に在籍。フランク・ブラレイ、上田晴子、ノトリック・コーエンの各氏に師事。

オフィシャルホームページ: keigomukawa.com

123 Mitake Sayaka Salon (vol.65)



世界に通用する才能溢れる
トップアーティストが
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのご
生演奏の醍醐味、
一期一会で味わう圧倒的な臨在感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、

こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、

演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!



誕生。
クラシック音楽サロン、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日 9:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03(3409)0188

